

## 比較社会論

2 units (selection) 2nd-year(2nd semester)

Kayoko Ueno · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

**Target)** 「愛とケアの南北問題」について理解を深める。

**Outline)** 少子高齢化、女性の就労、共働き世帯の増加などで生じた経済先進諸国での「ケア・クライシス」を解決するにはいくつかの方法が考えられる。本講義では、それらの方法を比較検討し、そのなかでも主に各々の家族が経済発展の遅れた国から安い賃金の女性労働者や「花嫁」を調達するアジア家族福祉レジームをシンガポールなどを例にみていく。そして、そのシステムの中で国境を越えて働く女性たちの生活の一部を紹介したい。

**Keyword)** 家族の神話, 貧困・格差

**Goal)**

1. 女性の移動を、「コモンの侵食」「ケア流出」といった南北問題をして捉えることができる。
2. 本講義で議論する「ケア・クライシス」をグローバル化社会に生きる自分たちの問題として捉えることができるようになる。

**Schedule)**

1. オリエンテーション — 再生産労働のグローバル化
2. 国際労働移動の諸要因
3. アジア家族福祉レジーム
4. 外国人家事・ケア労働者としての生活
5. 底辺労働者の抵抗のストラテジー
6. 家事・ケア労働者のアイデンティティのマネジメント
7. 家事・ケア労働者のアイデンティティのマネジメント
8. NGO で作られるヒロインたち
9. トランスナショナルなライフコース
10. 日本での外国人研修生・実習生制度
11. 日本での外国人研修生・実習生制度
12. 結婚での国際移動
13. 結婚での国際移動
14. インドネシア・フィリピンの外国人介護士・看護師
15. 愛とケアの南北問題
16. まとめ

**Evaluation Criteria)** 毎回のリアクションペーパーと学期末のレポートで評価

**Re-evaluation)** 無

**Textbook)** 上野加代子『なぜ女は国境を越えるのか — アジアの出稼ぎ家事労働

者』(仮題)世界思想社, 2011年

**Reference)** 毎回の授業レジメで紹介

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218949>

**Contact)**

⇒ Ueno (+81-88-656-7682, [ueno@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:ueno@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office Hour: 毎週水曜日 11時40分～12時40分)